

文部科学省 大学間連携共同教育推進事業
「ITを活用した超高齢社会の到来に対応できる歯科医師の養成」
第33回 ITを活用した教育センター会議 議事録

【日 時】平成27年9月2日(水) 13時～14時

【場 所】以下の5拠点によるスカイプ会議：岩手医科大学：城教授室、
北海道医療大学：越野教授室、昭和大学：1号館502号室、金沢電子出版株式会社、
株式会社ピコラボ

【出席予定者】城教授、内金崎事務員(岩手医科大学)、越野教授、豊下講師、
(北海道医療大学)、美島教授、弘中教授、佐藤教授、片岡教授、青木課長(学務)、
松原課長(財務)、乾事務員(昭和大学)、佐藤様(金沢電子出版株式会社)、
鈴木様(株式会社ピコラボ)

————— 議 事 内 容 —————

報告事項

1. 第32回 ITを活用した教育センター会議議事録(資料1)の確認
2. 5年生用復習ライブラリーの準備と進捗(資料2)WG2のコンテンツについて、城先生に確認していただき、準備を完了し学生に公開する予定である。
3. 「保健医療福祉連携」(8巻2号)特集 P36～48に掲載予定。
4. 症例ベース課題(Step1,2)各WGの進捗状況
 - 1) WG1 症例(薬剤による口腔乾燥)の概要は決定。VPとビデオを準備中
 - 2) WG2 症例と教材の概要は決定している。VPを準備中。
 - 3) WG3 急性期チーム医療をテーマとしてビデオとeラーニングを活用した教材にする。
 - 4) WG4 訪問歯科診療で口腔機能改善をテーマとしてビデオとeラーニングを活用する。
5. 3大学共通試験の実施
北海道医療大では10月2日に実施。岩手医大と昭和大ではH28年3月11日(金)に実施予定。
9月25日(金)を期限として作問依頼する。
6. 学生インタビュー(資料3)

【参考】

- 1) 北海道医療大学：学生インタビュー実施日時 Step1 9/2(水) 17:30～18:30,
Step2 9/30(水) 17:30～
- 2) 岩手医科大学：Step1 授業終了日 11/5(木), Step2 授業終了日 10/15(木)
- 3) 昭和大学：Step1 授業終了日 10/13(火), Step2 授業終了日 11/11(水)
7. 3大学の地域医療実習を中心とした学生間交流(担当：越野先生)
各大学の5年生3名が2月10日(水)17時30分からスカイプを活用して、それぞれの大学の
地域医療実習について発表をし、ディスカッションを行う。

検討事項

1. ITを活用した授業の運用とスケジュールについて(資料4)
2. 事業終了後の運用について検討事項(担当：青木)

各大学で検討の上、次回 WS 等で相談する。

予算額については金沢電子出版とピコラボに相談する。

- 1) 予算について
- 2) WS 及び会議の実施について
- 3) システム関係：教材の作成・回収費用とサーバ保守料について
3. 第 2 回公開シンポジウムについて（担当：城）
 - 1) 日時：平成 28 年 1 月 23 日（土）16 時頃～
 - 2) 場所：岩手県歯科医師会館 8020 ホール
 - 3) 講演者：大阪大学館村先生、横浜市立大学若林先生を候補として検討中
 - 4) スケジュール案：第 1 回と同様の流れを予定。学生の参加について検討中。

その他

次回 第 34 回 IT を活用した教育センター会議・・・候補日：10 月 14 日（水）13 時

以上

文部科学省 大学間連携共同教育推進事業
「ITを活用した超高齢社会の到来に対応できる歯科医師の養成」
第32回 ITを活用した教育センター会議 議事録

【日 時】平成27年7月28日(火), 13時～14時34分

【場 所】以下の5拠点によるスカイプ会議：岩手医科大学：城教授室、
北海道医療大学：越野教授室、昭和大学：1号館502号室、金沢電子出版株式会社

【出席予定者】城教授、内金崎事務員(岩手医科大学)、越野教授、豊下講師、
(北海道医療大学)美島教授、佐藤教授、片岡教授、青木課長(学務)、
松原課長(財務)、乾事務員(昭和大学)佐藤様(金沢電子出版株式会社)、
鈴木様(株式会社ピコラボ)

————— 議事録内容 —————

報告事項

1. 第31回 ITを活用した教育センター会議議事録(承認)(資料1)
2. 3連携大学シラバス(授業)とIT教材作成WGについて確認した(資料2)
3. 第34回歯科医学教育学会抄録とポスターを確認した(資料3)
4. 5年生用復習用ライブラリーの設置状況と教材について(資料4)
[URL:https://el5.showa-u.ac.jp/pool13/course/category.php?id=16](https://el5.showa-u.ac.jp/pool13/course/category.php?id=16)
WG2の教材作成を金沢電子出版に依頼して進めることになった。
IT業者への発注の流れについて松原様より説明があった。
5. 本事業で実施する授業の到達目標を確認した(資料5)
6. 昭和大学で開催する教員向け模擬授業とeラーニング教材作成のためのチュートリアルについて報告があった。
7. 「保健医療福祉連携」(8巻2号)特集執筆(資料6)
片岡教授が3大学の原稿を揃えた上、内容について打合せを行うことになった。
テーマ：「地域のチーム医療、在宅チーム医療で活躍できる歯科医師の養成」
—北海道医療大学、岩手医科大学、昭和大学および関連する9歯科医師会の取組—
 - 1) 取組の概要と成果について
片岡 竜太
昭和大学歯学部 スペシャルニーズ口腔医学講座 歯学教育学部門
 - 2) 北海道医療大学の取組と成果
越野 寿
北海道医療大学 歯学部口腔機能修復・再建学系 口腔再建補綴学分野
 - 3) 岩手医科大学の取組と成果
城 茂治
岩手医科大学歯学部 口腔顎顔面再建学講座 歯科麻酔学分野
 - 4) 昭和大学の取組と成果
弘中 祥司

昭和大学歯学部スペシャルニーズ口腔医学講座 口腔衛生学部門

- 5) 卒前教育、卒後教育（歯科臨床研修）に求めるもの
 -NST 連携、介護連携の実践の中から

佐々木勝忠 奥州市国保衣川歯科診療所

<提出締切：8月31日(月)まで>

8. 第23回歯科医学会総会（平成28年10月21日～23日@福岡）ポスター演題の発表を依頼した。旅費の確保について松原様に依頼した。

1) 昭和大学発表分

3大学と9歯科医師会が連携した「ITを活用した超高齢社会に対応できる歯科医師の養成」

- (1) 5年間の取組の概要とその成果 片岡竜太
 (2) 昭和大学の取組とその成果（学生の立場から） 山田修平（歯学部第3学年）
 (3) 昭和大学の取組とその成果（歯科医師会の立場から） 下山忠明（東京都歯科医師会）

2) 岩手医科大学

- (1) 岩手医科大学の取組とその成果（学生の立場から） 須和部京介
 (2) 岩手医科大学の取組とその成果（歯科医師会の立場から） 三善 潤（岩手県歯科医師会）

3) 北海道医療大学

- (1) 北海道医療大学の取組とその成果（学生の立場から） 島谷真梨（歯学部第4学年）
 (2) 北海道医療大学の取組とその成果（歯科医師会の立場から） 河野崇志（北海道歯科医師会）

検討事項

1. 症例ベースの課題について説明があった。（担当：越野）

各WGの症例教材：WG1は口腔乾燥症について教材を作成する。WG2は全身疾患の異なる2患者をWG3,4と共通のケースで設定する。WG3は急性期の多職種連携の基本パターンを担当することになっている。WG4は4年生教材で使用した脳梗塞で倒れたVP症例の診療バージョンを作成する。

各WGで症例ベースのe-ラーニングを組み合わせて11月のWSで完成させ、WS内で総合的な教材を作成する。

2. 共通試験の実施について説明があった。（担当：城）

- 1) 実施時期：城教授が各大学の実施時期を取り纏める
 2) 実施方法：進級判定との関わりについて各大学で検討する
 3) 試験問題の作成について・・・到達度評価委員会に確認を依頼する

3. 学生インタビューについて（担当：片岡）

- 1) 対象学生：大学毎に各学年2名を選出する
 2) 実施時期：北医大：Step1は9月2日17:30～18:30、Step2は9月30日17:30～
 3) 実施内容：インタビュアーは岐阜大学医学部 今福先生が担当する。スカイプを使用する。時間は1人20分程度を予定している。質問項目については半構造化した内容を準備中である。内容は次回センター会議で報告する。

4. 3大学の学生間の交流を図る方法について説明があった（担当：越野）（資料7）

北海道医療大学のmoodle利用に関するポリシーを確認の上、なるべくコストを抑えた方法を検討する。

5. IT を活用した授業の運用とスケジュールについて説明があった（資料8）
6. 事業終了後の運用について検討事項の説明があった（担当：青木）
各大学で検討の上、次回シンポジウム等で相談することになった。
予算額については金沢電子出版とピコラボに相談する。
 - 1) 予算について
 - 2) WS 及び会議の実施について
 - 3) システム関係：教材の作成・回収費用とサーバ保守料について
7. 第2回公開シンポジウムについて（担当：城）
 - 1) 日時：平成28年1月23日（土）16時頃～
 - 2) 場所：岩手県歯科医師会館8020ホール
 - 3) 講演者：2名について検討中
 - 4) スケジュール案：第1回と同様の流れを予定。学生の参加について検討中。

その他

この後の予定：

第9回WSを2016年6月に開催予定。WSはこの回で終了。

本事業の最終の纏めとして、第3回公開シンポジウムを2016年11月、北海道歯科医師会館（札幌）で調整中。

次回 第33回 IT を活用した教育センター会議・・・候補日：9月2日（水）13時～
（美島先生、弘中先生は代理出席）

以上

5年生用 口腔医学とチーム医療I, IIの復習用コンテンツ

URL: <https://el5.showa-u.ac.jp/pool13/>

The screenshot shows the Showa University website interface. At the top left is the university logo and name '昭和大学 SHOWA UNIVERSITY'. At the top right, it indicates the user is logged in as 'あなた' and provides a language dropdown menu set to '日本語 (ja)'. The main content area is divided into a left sidebar and a main course list.

ナビゲーション

- Home
 - マイホーム
 - サイトページ
 - マイプロフィール
 - マイコース
- 設定
 - マイプロフィール設定

コース

- ▼ **社会と歯科医療・チーム医療**
 - ▶ マスターコース
 - ▶ 2013年度実施コース
 - ▶ 2014年度実施コース
 - ▶ 研究用コース
- ▼ **作成中IT教材 (STEP3)**
 - ▼ **5年生用 口腔医学とチーム医療I, IIの復習用コンテンツ**
 - 🔄 【ライブラリー教材】WG1-2014
 - 🔄 【ライブラリー教材】WG3-2014
 - 🔄 【ライブラリー教材】WG4-2014
 - ▶ 5年生用 口腔医学とチーム医療III(症例課題)
- ▼ **eラーニングセミナー**
 - ▶ 第1回セミナー
 - ▶ 第2回セミナー
- ▼ **参考コース**
 - 🔄 全身疾患と口腔内科(口腔内科) (Systemic Disease and Oral Medicine) コピー 1

コースの検索: [すべてを新リたむ](#) [すべてを展開する](#)

あなたは 昭和大学 乾 としてログインしています (ログアウト)

5年生用【ライブラリー教材】WG1-2014

URL: <https://el5.showa-u.ac.jp/pool13/course/view.php?id=246>



昭和大学校
SHOWA UNIVERSITY

あなたは 昭和大学校 乾としてログインしています (ログアウト)

日本語 (ja) ▼

Home ▶ 【ライブラリー】WG1-2014
編集モードの開始

ナビゲーション

Home

- ▶ マイホーム
- ▶ サイトページ
- ▶ マイプロフィール
- ▼ 現在のコース
 - ▼ 【ライブラリー】WG1-2014
 - ▶ 参加者
 - ▶ レポート
 - ▶ 模擬授業コース
 - ▶ 電子ポートフォリオ
 - ▶ 2014/12/17 教授会模擬授業2: 口腔乾燥症IT演習(担当: 美島健二先生)
 - ▶ 学生アンケート
 - ▶ トピック 4
- ▶ マイコース
- ▶ 設定

模擬授業コース

 [ニュースフォーラム](#)

電子ポートフォリオ

2014/12/17 教授会模擬授業2: 口腔乾燥症IT演習(担当: 美島健二先生)

課題: 1 小テスト: 9 ページ: 3 ブック: 2 URI: 1

学生アンケート

トピック 4

設定

- ▼ コース管理
 -  編集モードの開始
 -  設定を編集する
 - ▶ ユーザ
 - ▼ フィルタ
 -  評定
 -  アウトカム
 -  バックアップ
 -  リストア
 -  インポート
 -  公開
 -  リセット
 - ▶ 問題バンク
- ▶ ロールを切り替える ...
- ▶ マイプロフィール設定

あなたは 昭和大学校 乾としてログインしています (ログアウト)

 [このページのMoodle Docs](#)

5年生用【ライブラリー教材】WG3-2014

URL: <https://el5.showa-u.ac.jp/pool13/course/view.php?id=247>



昭和大学
SHOWA UNIVERSITY

あなたは 昭和大学校 乾としてログインしています (ログアウト)

日本語 (ja) ▾

Home ▶ 【ライブラリー】WG3-2014
編集モードの開始

ナビゲーション

Home

- ▶ マイホーム
- ▶ サイトページ
- ▶ マイプロフィール
- ▼ 現在のコース
 - ▼ 【ライブラリー】WG3-2014
 - ▶ 参加者
 - ▶ レポート
 - ▶ 一般
 - ▶ 2014/12/17 教授会模擬授業1:2025問題IT演習(担当:弘中祥司先生)
 - ▶ トピック2
 - ▶ トピック3
 - ▶ トピック4
 - ▶ トピック5
- ▶ マイコース
- ▶ 設定

 [ニュースフォーラム](#)

2014/12/17 教授会模擬授業1: 2025問題IT演習(担当:弘中祥司先生)

1. 口腔内環境・機能検査として、唾液分泌能測定、口腔乾燥度測定、細菌数測定、嚥下機能測定、および咬合力測定を実施できる。
2. 検査の結果を評価できる。
3. 異常の原因や原疾患を概説できる。

課題: 1 小テスト: 5 ページ: 8 ブック: 1

[トピック2](#)

[トピック3](#)

[トピック4](#)

[トピック5](#)

設定

- ▼ コース管理
 - ✎ 編集モードの開始
 - ⚙ 設定を編集する
 - ▶ ユーザ
 - ▼ フィルタ
 - 📊 評価
 - 📢 アウトカム
 - 📦 バックアップ
 - 📦 リストア
 - 📦 インポート
 - 🔒 公開
 - 🔄 リセット
 - ▶ 問題バンク
- ▶ ロールを切り替える ...
- ▶ マイプロフィール設定

あなたは 昭和大学校 乾としてログインしています (ログアウト)

[このページのMoodle Docs](#)

5年生用【ライブラリー教材】WG4-2014

URL: <https://el5.showa-u.ac.jp/pool13/course/view.php?id=247>



昭和大学
SHOWA UNIVERSITY

あなたは 昭和大学 乾 としてログインしています (ログアウト)

日本語 (ja) ▾

Home ▶ 【ライブラリー】WG4-2014

編集モードの開始

マイコース

- 【2013 マスターコース】社会と歯科医療・チーム医療 (WG1)
- 【2013 マスターコース】社会と歯科医療・チーム医療 (WG2)
- 【2013 マスターコース】社会と歯科医療・チーム医療 (WG3)
- 【2013 マスターコース】社会と歯科医療・チーム医療 (WG4)
- 【2013 マスターコース】社会と歯科医療・チーム医療(実習)
- 【2014 マスターコース】授業後アンケート
- 【2014 マスターコース】社会と歯科医療・チーム医療 (WG3)
- 【北海道医療大学】超高齢社会とチーム医療(2013年9月実施)
- 【岩手医科大学】社会と歯科医療・チーム医療(大学間連携IT教育)(2013年6月実施)
- 【昭和大学】H25 D3 チーム医療と口腔医学Ⅰ(2013年9月実施)
- 【昭和大学】H25 D4 チーム医療と口腔医学Ⅱ(2013年10月実施)
- 【昭和大学】ヒトの病気(病気)(General Diseases)(2014年4月実施)
- セミナー用サンプルコース
- セミナー用サンプルコース2
- 全身疾患と口腔内科(口腔内科)(Systemic Disease and Oral Medicine)



ニュースフォーラム

2014_WG4-01 超高齢社会とチーム医療1

高齢者の心理的・身体的特徴

この教材では歯科外来にやってきた高齢の患者さんの様子を視聴し、高齢者の心理的および身体的な特徴について学んでいきます。
さらに、高齢者の多様性や一般的に起こりやすい機能低下についても理解を深めます。
最後に関連する国家試験問題にも挑戦しましょう。

ページ: 5 ブック: 1 小テスト: 1
進捗: 0/6

2014_WG4-02 超高齢社会とチーム医療2

高齢者の死因と疾患の特徴

この教材ではまず初めに高齢の有病者が歯科治療を受けることによって、身体機能が改善した症例についてのビデオを視聴し、全身と口腔の関係について考えます。
さらに、高齢者に多い疾患の特徴や死因についても理解を深めます。
最後に関連する国家試験問題にも挑戦しましょう。

ページ: 6 ブック: 1 小テスト: 1
進捗: 0/7

2014_WG4-03 超高齢社会とチーム医療3

有病高齢者の歯科診療

この教材では有病高齢者の患者さんの歯科診療について学習します。基礎疾患の1例として脳梗塞の既往のある患者さんを取り上げます。最初に医療面接を行い、検査、診断をした後、治療に必要な照会状を作成してみましょう。
最後に関連する国家試験問題にも挑戦しましょう。

URI: 1 ファイル: 1 ページ: 2 ブック: 1 小テスト: 1
進捗: 0/4

平成27年度北海道医療大学シラバス

I. STEP1 (基礎知識の修得)

【3年生】ユニット名：リハビリテーション科学概論

授業回 (80分)	日付	時限	テーマ	授業内容および学習課題	担当者	担当WG
1★	4月2日	2	*全身がわかる歯科医師がなぜ必要か	全身がわかる歯科医師がなぜ必要かについて学習する。	豊下 祥史 (咬合再建補綴学) 草野 薫	2
2	4月9日	2	身体運動機能の基本1	身体運動機能の基本を理解する。	堀本 佳誉	
3	4月16日	2	身体運動機能の基本2	身体運動機能の基本を理解する。	堀本 佳誉	
4	4月23日	2	身体運動機能の基本3	身体運動機能の基本を理解する。	堀本 佳誉	
5	4月30日	2	リハビリテーションの概念1	リハビリテーションの概念を理解する。	鎌田 樹寛	
6	5月7日	2	高齢者の心身の特徴1	高齢者の心身の特徴を理解する。	鎌田 樹寛	
7	5月14日	2	身体運動機能の障がいとその回復	身体運動機能の障がいとその回復の概念を理解する。	堀本 佳誉	
8	5月28日	2	リハビリテーションの概念2 (実習；車いす体験)	車いす体験を通じて障がいを理解する。	堀本 佳誉 鎌田 樹寛	
9	6月4日	2	高齢者の心身の特徴2 (実習；高齢者体験)	高齢者体験実習を通じて高齢者の心身の特徴を理解する。	堀本 佳誉 鎌田 樹寛	
10	6月11日	2	身体運動機能の障がいとその回復 (実習；脳卒中体験)	片麻痺体験を通じて障がいを理解する。	堀本 佳誉 鎌田 樹寛	
11	6月25日	2	他職種連携	多職種連携について理解する。	鎌田 樹寛	
12★	6月30日	2	*超高齢社会における問題点	2025年問題を理解する。	千葉 逸朗 (保健衛生学) 入江 一元 (組織学)	3
13★	7月7日	2	*高齢者の心身の特徴3	高齢者の心身の特徴を理解する。	越野 寿 (咬合再建補綴学) 豊下 祥史	4
14★	7月14日	2	*口腔乾燥症と疾患	口腔乾燥症の病態と関連する疾患について理解する。	安彦 善裕 (臨床病理学) 長澤 敏行 (臨床教育管理運)	1
15★	7月21日	2	*高齢者の心身の特徴4	高齢者の心身の特徴を理解する。	越野 寿 (咬合再建補綴学) 豊下 祥史	4

II. STEP2 (臨床推論能力の養成)

【5年生】ユニット名：高齢者歯科学

授業回 (80分)	日付	時限	テーマ	授業内容および学習課題	担当者	担当WG
1	4月2日	5	高齢者理解の基本 高齢者と社会	加齢の概念を知り、歯科が高齢者の生活の質(QOL)の向上に果たす役割を学習する。	越野 寿 (咬合再建補綴学)	
2	4月3日	5	高齢者の身体的特徴	生理機能・代謝機能・免疫機能などの老化とその臨床的意味について学習する。	長田 和実	
3	4月7日	4	高齢者の薬物動態	高齢者における薬物動態の薬物動態と加齢変化、薬物治療時の注意点を学習する。	東城 庸介	

4	5月7日	2	口腔と健康 介護保険と高齢者歯科	高齢者に関連する保険・医療・福祉制度について学習する。	千葉 逸朗 (保健衛生学)	
5	5月29日	1	高齢者の全身管理 (高齢者の基礎疾患)	高齢者にみられる全身性疾患と歯科領域の病態との関連および高齢者の基礎疾患と歯科治療における注意点を学習する。	家子 正裕	
6	5月8日	1	顎口腔領域の疾患 高齢者の感染予防対策 高齢者の口腔外科処置	①高齢者に多い顎口腔領域の疾患と感染予防について説明できる。 ②高齢者の口腔外科処置・手術についての反応の特徴を概説できる。	柴田 考典	
7	5月1日	4	歯・歯周組織の老化と治療	歯および歯周組織の加齢変化と高齢者における歯の保存治療の留意点について学習する。	古市 保志	
8	9月24日	2	高齢者の精神的・心理的特徴 口腔の変化と問題点	高齢者における口腔の変化と問題点を学ぶとともに、欠損補綴治療の在り方を学習する。	越野 寿 (咬合再建補綴学)	
9	5月22日	3	言語障害と歯科的対応	高齢者における言語障害の発現と歯科的対応方法について学ぶ。	越野 寿 (咬合再建補綴学) 會田 英紀	
10	4月20日	2	摂食嚥下障害 リハビリテーション	摂食嚥下障害について理解し、正しい口腔ケアについて学習する。	木下 憲治	
11★	8月28日	1	*超高齢社会とチーム医療 ①	高齢者の心身の特徴を概説できる。	越野 寿 (咬合再建補綴学) 豊下 祥史	4
12★		2	*VP教材についてのオリエンテーション	VP教材の使用方法について学ぶ。	越野 寿 (咬合再建補綴学) 豊下 祥史	4
13★	9月18日	1	*チーム医療における歯科医師の役割(回復期)	脳梗塞などの疾患に罹患した患者に対して、退院後に行う地域連携医療の実際について理解する。	越野 寿 (咬合再建補綴学) 豊下 祥史 (咬合再建補綴学)	4
14★		2				4

IT を活用した授業を受けた学生へのインタビューについて

目的：北海道医療大学、岩手医科大学、昭和大学と関連する9つの歯科医師会が協働して、様々な全身疾患を有し、薬を服用している高齢の患者さんに対しても、医師、薬剤師、看護師などの多職種と連携して安心、安全な歯科診療を提供できる歯科医師を育成するために、教育プログラムを作成し、3大学で同じIT教材を活用して授業を行っています。

この取組は社会の変化に対応するために、文部科学省の補助を受けて、全国に先駆けて行っているものなので、実際に授業を受けた学生に率直な感想を聞いて、教育プログラムの改善に活かしたいと考えています。

内容：まず資料を用いて、受講したITを活用した授業内容を確認します。その後でその授業に関して良かった事、改善して欲しい事、授業の進め方について、良かった事、改善して欲しい事について、聞きますので思った通りに答えて下さい。

答えた内容などは成績には一切影響しませんので安心して下さい。

なお、インタビューは30分以内で岐阜大学の先生が行います。

ITを活用した超高齢社会の到来に対応できる歯科医師の養成

超高齢社会の到来により、歯科患者の
基礎疾患有病率・服薬率の増加

超高齢社会に必要なとされる歯科医師像の把握

- ・全身と関連づけて口腔を診れる歯科医師
- ・基礎疾患を有する患者の歯科治療を安全に行える歯科医師

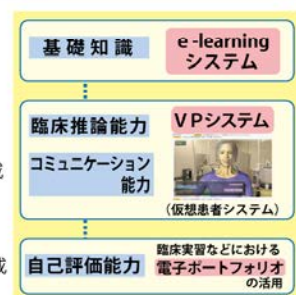
ITを活用した教育センター(3大学と歯科医師会)における取組内容

1. 能動型学習資源の改良
[e-learning・VPシステム
・電子ポートフォリオ]
2. ITを活用した超高齢化社会に対応した歯学教育プログラムの開発
3. 教育目標の到達度の評価
4. ITを活用した歯学教育プログラムの改良



教育内容とITシステム

1. 全身に関連する基礎知識の習得
2. コミュニケーション・臨床推論能力の養成
3. 自己評価能力の養成



学生インタビューで確認をしたい内容

1. IT を活用した授業で良かったこと。
2. IT を活用した授業で改善して欲しいこと。
3. 授業の進め方について
 - 1) 事前学習課題
 - 2) 症例課題
 - 3) まとめテスト（ポストテスト）
 - 4) 復習課題

4. 双方型の授業について

学生の理解度を確認しながら、授業を行ったか？通常の講義と比較してどのような違いがあったか？

5. 反転授業について

まず知識を与えて、それを反復したり応用させる授業ではなく、まず自分で手持ちの資料を用いて考えてみて、その後で先生の説明を聞くというタイプの授業は通常の講義と比較してどのような違いがあったか？

6. IT 教材のメリット、デメリットは？

ビデオ教材

e-ラーニング教材（書き込み式、穴埋め式、選択式など）

満点になるまで何度も繰り返す反復学習

VP 教材（仮想患者）

電子ポートフォリオ

ITを活用した授業の運用について(昭和大学)

	担当教員	ITを活用した教育センター/ 学事部	学生
コース開講前	T-1 講義室・実習室の予約を学事に依頼	E-1 シラバスに準じた e-ラーニングコースの登録 ↓ E-2 シラバスに準じたユーザ登録とロール割り当て (学生・教員・テスト学生アカウント) ↓ E-3 講義室予約	
各回授業前	T-2 e-ラーニングコンテンツ作成 授業2週間前迄に事前学習課題原稿を金沢電子出版に提出 ↓ T-3 e-ラーニングコース画面確認 ①教員アカウント ②テスト学生アカウント ↓ T-4 事前学習課題オープン ↑ T-5 事前学習課題提出状況確認	E-4 事前学習課題をテスト学生アカウントで確認後、ポータルサイトで学生に連絡	事前学習課題提出
各回授業中	T-6 授業コースオープン ↓ T-7 学生の履修状況・正答率の確認 ↓ T-8 アンケート実施		PC持参 アンケート回答
各回授業後	T-9 授業コースを閉じ、復習課題をオープンする。 ↓ T-10 アンケート集計結果と正答率の確認 ↓ T-11 復習状況の確認 ↓ T-12 各授業毎の授業達成度、学習効果分析	E-5 アンケート集計結果を授業担当者へ送付	復習課題履修
コース終了後	T-13 コース全体の学習履歴、成績の分析、実施コースの達成度、効果分析、正誤判定確認 ↓ T-14 分析・集計結果を学事部へ送付	E-6 各学年と連携大学の報告(到達度の評価とアンケート)取り纏め ↓ E-7 報告書作成	

平成27年度 大学間連携共同教育推進事業 授業準備スケジュール

学年	科目名	ステータス	NO.	項目	日付	授業日	時限	担当者
D3	口腔医学とチーム医療Ⅰ(口医学Ⅰ)	コース開講前	T-1	講義室予約を学事に依頼	(済)	9/15~10/6		乾
			E-1	実習室予約を学事に依頼	(済)	10月13日		望月
			E-2	シラバスに準じたe-ラーニングコースの登録	(済)			宮崎
			E-3	シラバスに準じたユーザ登録とロール割り当て	(済)			宮崎
		各回授業前	T-2	・e-ラーニングコンテンツ作成 ・授業2週間前に事前学習課題原稿を金沢電子出版に提出	9月1日	9/15授業分	2	弘中・内海
					9月15日	9/29授業分	1,2,3	弘中・内海
					9月22日	10/6授業分	4	美島、安原
					9月29日	10/13授業分	1,2	弘中・内海、美島、安原
			T-3	e-ラーニングコース画面確認 ①教員アカウント ①学生アカウント	9月15日	9/15授業分	2	弘中・内海
					9月29日	9/29授業分	1,2,3	弘中・内海
					10月6日	10/6授業分	4	美島、安原
					10/13授業分	1,2	弘中・内海、美島、安原	
			T-4	事前学習課題オープン	9月8日	9/15授業分	2	弘中・内海
					9月22日	9/29授業分	1,2,3	弘中・内海
					9月29日	10/6授業分	4	美島、安原
					10月6日	10/13授業分	1,2	弘中・内海、美島、安原
			T-5	事前学習課題提出状況確認	9月14日	9/15授業分	2	弘中・内海
					9月28日	9/29授業分	1,2,3	弘中・内海
					10月5日	10/6授業分	4	美島、安原
					10月12日	10/13授業分	1,2	弘中・内海、美島、安原
		E-4	事前学習課題をテスト学生アカウントで確認後、ポータルサイトで学生に連絡	9月8日	9/15授業分	2	青木	
				9月22日	9/29授業分	1,2,3,4	青木	
				9月29日	10/6授業分	1,2	青木	
				10月6日	10/13授業分	1,2	青木	
		各回授業中	T-6 T-7 T-8	授業コースオープン 学生の履修状況・正答率の確認 アンケート実施	9月15日	9/15授業分	2	弘中・内海
					9月29日	9/29授業分	1,2,3	弘中・内海
					10月6日	10/6授業分	4	美島、安原
		各回授業後	E-5	アンケート集計結果を授業担当者へ送付	10月13日	10/13授業分	1,2	要確認
					9月15日	9/15授業分	2	青木
					9月29日	9/29授業分	1,2,3,4	青木
					10月6日	10/6授業分	1,2	青木
			T-9	授業コースを閉じ、復習課題をオープンする。	10月13日	10/13授業分	1,2	要確認
					9月15日	9/15授業分	2	弘中・内海
					9月29日	9/29授業分	1,2,3	弘中・内海
					10月6日	10/6授業分	4	美島、安原
		T-10 T-11 T-12	アンケート集計結果と正答率の確認 復習状況の確認 各授業毎の授業達成度、学習効果分析	10月6日	10/6授業分	1,2	弘中・内海、美島、安原	
				9/15授業分	2	弘中・内海		
				9/29授業分	1,2,3	弘中・内海		
		コース終了後	T-13 T-14 E-6 E-7	コース全体の学習履歴、成績の分析、実施コースの達成度、効果分析、正誤判定確認 分析・集計結果を学事に送付 各学年と連携大学の報告(到達度の評価とアンケート)取り纏め 報告書作成	11月15日迄			青木
					12月末迄			青木
D4	口腔医学とチーム医療Ⅱ(口医学Ⅱ)	コース開講前	T-1	講義室予約を学事に依頼	(済)	10/13~11/18		乾
				実習室予約を学事に依頼	(済)	11月11日		内海
			E-1	シラバスに準じたe-ラーニングコースの登録	(済)			宮崎
			E-2	シラバスに準じたユーザ登録とロール割り当て	(済)			宮崎
			E-3	講義室・実習室を予約、担当者に連絡	(済)	10/13~11/18		宮崎
		各回授業前	T-2	・e-ラーニングコンテンツ作成 ・授業2週間前に事前学習課題を金沢電子出版に提出	9月29日	10/13授業分	3	片岡
					10月6日	10/20授業分	3,4	弘中・内海
					10月7日	10/21授業分	3	美島、鎌谷、安原、佐藤
					10月27日	11/10授業分	3,4	弘中・内海
			T-3	授業1週間前に事前学習課題を確認 (テスト学生アカウント)	10月6日	10/13授業分	3	片岡
					10月13日	10/20授業分	3,4	弘中・内海
					10月14日	10/21授業分	3	美島、鎌谷、安原、佐藤
					11月3日	11/10授業分	3,4	弘中・内海
			T-4	テスト学生アカウントでコースを確認	10月13日	10/13授業分	3	片岡
					10月20日	10/20授業分	3,4	弘中・内海
					10月21日	10/21授業分	3	美島、鎌谷、安原、佐藤
					11/10授業分	3,4	弘中・内海	
			T-5	事前学習課題提出状況確認	10月12日	10/13授業分	3	片岡
					10月19日	10/20授業分	3,4	弘中・内海
					10月20日	10/21授業分	3	美島、鎌谷、安原、佐藤
					10月20日	10/21授業分	4	片岡
		E-4	事前学習課題をテスト学生アカウントで確認後、ポータルサイトで学生に連絡	11月9日	11/10授業分	3,4	弘中・内海	
				10月6日	10/13授業分	3	青木	
				10月13日	10/20授業分	3,4	青木	
				10月14日	10/21授業分	3	青木	
		各回授業中	T-6 T-7 T-8	授業コースオープン 学生の履修状況・正答率の確認 アンケート実施	11月3日	11/10授業分	3,4	青木
					10月13日	10/13授業分	3	片岡
					10月20日	10/20授業分	3,4	弘中・内海
		各回授業後	E-5	アンケート集計結果を授業担当者へ送付	10月20日	10/20授業分	3,4	美島、鎌谷、安原、佐藤
					10月21日	10/21授業分	3	弘中・内海
					10月21日	10/21授業分	4	片岡
					11月10日	11/10授業分	3,4	弘中・内海
			T-9	授業コースを閉じ、復習課題をオープンする。	10月13日	10/13授業分	3	片岡
					10月20日	10/20授業分	3,4	弘中・内海
					10月21日	10/21授業分	3	美島、鎌谷、安原、佐藤
					10月21日	10/21授業分	4	片岡
		T-10 T-11 T-12	アンケート集計結果と正答率の確認 復習状況の確認 各授業毎の授業達成度、学習効果分析	11月10日	11/10授業分	3,4	弘中・内海	
				10/13授業分	3	片岡		
				10/20授業分	3,4	弘中・内海		
		コース終了後	T-13 T-14 E-6 E-7	コース全体の学習履歴、成績の分析、実施コースの達成度、効果分析、正誤判定確認 分析・集計結果を学事に送付 各学年と連携大学の報告(到達度の評価とアンケート)取り纏め 報告書作成	12月15日迄			青木
					1月末迄			青木
								片岡、弘中・内海、美島、鎌谷、安原、佐藤

平成27年度 大学間連携共同教育推進事業 授業準備スケジュール(弘中先生、内海先生)

学年	科目名	ステータス	NO.	項目	日付	授業日	時限	担当者
D3	口腔医学とチーム医療Ⅰ(口医学Ⅰ)	各回授業前	T-2	e-ラーニングコンテンツ作成 ・授業2週間前迄に事前学習課題を金沢電子出版に提出	9月1日	9/15授業分	2	弘中・内海
					9月15日	9/29授業分	1.2.3	弘中・内海
					9月22日	10/6授業分	1.2	弘中・内海、美島、安原
			T-3	授業1週間前に事前学習課題を確認 (テスト学生アカウントで確認する)	9月8日	9/15授業分	2	弘中・内海
					9月22日	9/29授業分	1.2.3	弘中・内海
					9月29日	10/6授業分	1.2	弘中・内海、美島、安原
			T-4	テスト学生アカウントでコースを確認		9/15授業分	2	弘中・内海
						9/29授業分	1.2.3	弘中・内海
						10/6授業分	1.2	弘中・内海、美島、安原
			T-5	事前学習課題提出状況確認	9月14日	9/15授業分	2	弘中・内海
					9月28日	9/29授業分	1.2.3	弘中・内海
					10月5日	10/6授業分	1.2	弘中・内海、美島、安原
		各回授業中	T-6 T-7 T-8	授業コースオープン 学生の履修状況・正答率の確認 アンケート実施	9月15日	9/15授業分	2	弘中・内海
					9月29日	9/29授業分	1.2.3	弘中・内海
					10月6日	10/6授業分	1.2	弘中・内海、美島、安原
		各回授業後	T-9	授業コースを閉じ、復習課題をオープンする。	9月15日	9/15授業分	2	弘中・内海
					9月29日	9/29授業分	1.2.3	弘中・内海
			T-10 T-11 T-12	アンケート集計結果と正答率の確認 復習状況の確認 各授業毎の授業達成度、学習効果分析	10月6日	10/6授業分	1.2	弘中・内海、美島、安原
						9/15授業分	2	弘中・内海
		コース終了後	T-13 T-14	コース全体の学習履歴、成績の分析、実施コースの達成度、効果分析、正誤判定確認 分析・集計結果を学事部へ送付		9/29授業分	4	弘中・内海
	10/7日				10/21授業分	3	弘中・内海	
D4	口腔医学とチーム医療Ⅱ(口医学Ⅱ)	各回授業前	T-2	e-ラーニングコンテンツ作成 ・授業2週間前迄に事前学習課題原稿を金沢電子出版に提出	9月29日	10/13授業分	4	弘中、内海
					10月7日	10/21授業分	3	弘中、内海
					10月27日	11/10授業分	3.4	弘中、内海
			T-3	e-ラーニングコース画面確認 ①教員アカウント②テスト学生アカウント		10/13授業分	4	弘中、内海
						10/21授業分	3	弘中、内海
						11/10授業分	3.4	弘中、内海
			T-4	事前学習課題オープン	10月6日	10/13授業分	4	弘中、内海
					10月14日	10/21授業分	3	弘中、内海
					11月3日	11/10授業分	3.4	弘中、内海
			T-5	事前学習課題提出状況確認	10月12日	10/13授業分	4	弘中、内海
					10月20日	10/21授業分	3	弘中、内海
					11月9日	11/10授業分	3.4	弘中、内海
		各回授業中	T-6 T-7 T-8	授業コースオープン 学生の履修状況・正答率の確認 アンケート実施	10月13日	10/13授業分	4	弘中、内海
					10月21日	10/21授業分	3	弘中、内海
					11月10日	11/10授業分	3.4	弘中、内海
		各回授業後	T-9	授業コースを閉じ、復習課題をオープンする。	10月13日	10/13授業分	4	弘中、内海
					10月21日	10/21授業分	3	弘中、内海
			T-10 T-11 T-12	アンケート集計結果と正答率の確認 復習状況の確認 各授業毎の授業達成度、学習効果分析	11月10日	11/10授業分	3.4	弘中、内海
						10/13授業分	4	弘中、内海
		コース終了後	T-13 T-14	コース全体の学習履歴、成績の分析、実施コースの達成度、効果分析、正誤判定確認 分析・集計結果を学事部へ送付		10/21授業分	3	弘中、内海
	11/10授業分				3.4	弘中、内海		